

養父市記者発表資料 (発表 ・ 資料配布)			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
3月26日 (月)	産業環境部 商工観光課	079-664-0289	課長 柳川 武 書家 前田 華汀
【報道解禁】新聞： 月 日 () 朝刊 テレビ： 月 日 () 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第32回 YOSHIDA CUP (米国西海岸) における
書家 前田華汀さんの書道パフォーマンスのご報告について

養父市大屋町出身の書家の前田華汀さんが、このたびアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド 32nd YOSHIDA CUP にて、書道パフォーマンスを行いましたのでご報告します。

YOSHIDA CUP は、(公財)全日本空手道連盟公認の事業であり、主催者は空手家の吉田潤喜(吉田ソース創業者)会長です。

前田華汀さんは、吉田潤喜会長のご招待を受け、本大会 (18日) のメインアトラクションにおいて押忍を揮毫いたしました。(その様子等については、記者発表当日に写真データをお渡しします。) 海外においても書道への注目が集まっており、日本の文化や魅力を伝えることができました。

- 1 期 間 平成30年3月17日 (土) ~ 3月18日 (日)
- 2 場 所 アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド
- 3 大会スケジュール
 - ・3/17 セミナー
【講師】長谷川行光先生 (WKF 世界大会団体形5連覇)、松久 功先生 (WKF 世界大会3位)、月井 新先生 (他国ナショナルチームコーチ)
 - ・3/18 本大会
- 4 問合せ 前田華汀 電話：090-5049-2131

(参考)

※YOSHIDA CUP について

この大会は、米国西海岸において最も大きな空手の国際大会であり、米国ナショナルチームのジュニア並びにシニアチームの選手、カナダからの選手等も参加し、日本から参加する子ども達や大人にとっても、現地での交流の中から貴重な体験ができる機会となっています。

日本からは小2~シニアクラスまで会派関係無く約50名が参加し、総勢600人が団体組手、団体形、個人組手、個人形、古武道を披露しました。

※吉田潤喜氏の紹介

大学受験に失敗してアメリカに渡る。空手道場を開くが経営不振に陥り、しょう油ベースのバーベキューソース吉田グルメのたれを考案し、コストコと提携し拡大した。

吉田ソースは全米の中小企業局が選ぶ全米24社の中に選ばれ、現在ソースは10カ国に販売。他に航空貨物、リゾート開発、不動産など18社 年商2億ドルをあげるアメリカ中堅の有名企業です。

養父市 記者発表資料（発表・資料配布）

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
3月26日（月）	やぶぐらし課	079-662-3172	課長 羽渕 猛 （主幹 片芝 誠） 河内 友久 山崎 友香
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市移住促進機関紙「長靴ノート」の発行について

このほど養父市は、自分のまちの魅力を再発見し、まちに能動的に関わるためのきっかけとして、養父の人を中心に、伝統文化や地域行事などを紹介する養父市移住促進機関紙「長靴ノート」を発行しました。

この機関紙は、養父市へIターンされた方が集まり、まちの魅力を話し合い制作した機関紙です。

「やぶの暮らしの疑似体験」をテーマに観光情報誌やウェブサイトに掲載されていないような生活者目線のリアルな暮らしをおもしろく伝える冊子、集めたくなる冊子をコンセプトに作りました。

- 1 名称 養父市移住促進機関紙「長靴ノート」
- 2 規格
 - (1) サイズ B5 12ページ
 - (2) 色数 全ページ4色カラー
 - (3) 部数 1,000部
- 3 配付
 - (1) 市内（子育て・移住サポートセンター、市役所窓口など）で常設配架
 - (2) 移住・交流情報ガーデン、カムバックひょうご東京センター、まるとごにつぼんなどの常設配架
 - (3) 神戸、大阪、東京などの臨時相談会、合同企業説明会、就職相談会等における配布
 - (4) 移住希望者、空き家バンク利用登録者、やぶ暮らしセミナー等参加者への配布など
- 4 制作者 養父市へIターンされた方
 - ・アートディレクター／河内友久
 - ・ライター／山崎友香
 - ・カメラマン／河内明子
- 5 その他 今後の発行予定（年3回：平成30年7月・11月・3月）
 今後は、やぶぐらしホームページ等でも閲覧できるようにします。
- 6 問合せ先 養父市役所やぶぐらし課 電話：079-662-3172 担当：片芝 誠

養父市記者発表資料（発表）

養父市記者発表資料（発表）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
3月26日（月）	社会教育課	079-664-1628 （240）	課長 谷本進 （主幹 山根実生子）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

樽見の大ザクラ治療 20 周年記念講演会について

1 概要

養父市大屋町樽見に生育する「樽見の大ザクラ」は推定樹齢 1,000 年、昭和 26 年 6 月 9 日に国指定の天然記念物になりました。兵庫県を代表する大桜であり、幹廻りは 6.3 m、樹高は 13.8m です。枝は東西 14.4m、南北 21m に広がり、幹の表面は、樹皮のコブが盛り上がり老木の風格を示しています。「仙桜」とも呼ばれています。樹種はエドヒガンザクラです。

平成 5 年には桜の花や葉が大変少なくなり、枯死寸前といわれました。そこで、文化庁、兵庫県教育委員会、兵庫みどり公社、兵庫県内の樹木医などの支援を受け、養父市（当時は大屋町）が平成 9 年から木製ジャングルジム支柱の設置、土壌改良や不定根を育成するなど樹勢回復のための治療を進めました。その後も今日まで、継続的に樹勢回復事業と維持管理を進めてきました。

平成 9 年から 20 年にわたる樹勢回復事業の取組を紹介し、養父市のシンボルである「樽見の大ザクラ」のさらなる保存、回復に向けて講演会を開催します。

2 講演会のテーマ、日時など

- ①テーマ 樽見の大ザクラ治療 20 周年記念講演会
大きく、広がれ。大きく、伸びろ。～大ザクラの保存・回復に向けて～
- ②開催日時 平成 30 年 4 月 13 日（金）
開場：午後 1 時 開演：午後 1 時 30 分
- ③会場 養父市立おおやホール（養父市立大屋地域局の横）
兵庫県養父市大屋町山路 7（TEL 079-669-0120）
- ④主催 養父市、養父市教育委員会、（社）兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会但馬
- ⑤後援 樽見大桜保存会、（社）日本樹木医会兵庫県支部、兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会
- ⑥その他 入場無料

3 講演会の講師

①中村 仁氏 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)

樹木の菌類(カビ)による病気に関する試験研究を長年行っており、現在は、果樹の病気を対象として、果樹園に元来生息している土着の微生物とその働きを活用した防除方法の開発を進める。

②堀 大才氏 (NPO 法人樹木生態研究会代表)

法政大学生命科学部兼任講師(植物医科学)、NPO 法人樹木生態研究会代表、(財)日本緑化センター樹木医認定プログラム講師、樹木医学会監事。日光杉並木をはじめ全国各地で樹木の治療に活躍する。

③伊藤晴子氏 (洋画家)

東京藝術大学美術学部油画科卒業、イタリア国立カララ美術アカデミー卒業、父・伊藤清永氏に師事、1985・1987 日展特選、1988 白日会 S 美術賞、2000 日展会員賞、2010 白日会内閣総理大臣賞を受賞。日展特別会員、白日会常任委員。

④宮田和男氏 (樹木医)

樹木医として、国指定天然記念物の「樽見の大ザクラ」を20年間に渡って治療を続ける。国指定天然記念物の「建屋のヒダリマキガヤ」(養父市)、県指定天然記念物の「延応寺の大ケヤキ」(朝来市)の治療など但馬各地で樹木医として活躍する。

4 現地説明会

平成30年4月13日(金) 樽見の大ザクラの見学・現地説明会を実施します。
樹木医が大ザクラの解説を行います。

5 問合せ先

養父市教育委員会教育部社会教育課(担当 谷本、山根、電話 079-664-1628)

樽見の大ザクラ 治療20周年記念講演会

大きく、広かれ。大きく、伸びる。
大ザクラの保存・回復に向けて

平成30年 4月13日(金)

開場/午後1時
開演/午後1時30分

入場
無料

養父市立おおやホール

兵庫県養父市大屋町山路7 (TEL 079-669-0120)

主催/養父市、養父市教育委員会、(社)兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会但馬

後援/樽見大桜保存会、(社)日本樹木医会兵庫県支部、兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会

お問い合わせ先

養父市教育委員会教育部社会教育課

〒667-0198 兵庫県養父市広谷250-1 (養父庁舎2階)

TEL 079-664-1628 FAX 079-664-1147

[E-mail] shakaikyoku@city.yabu.lg.jp



プログラム

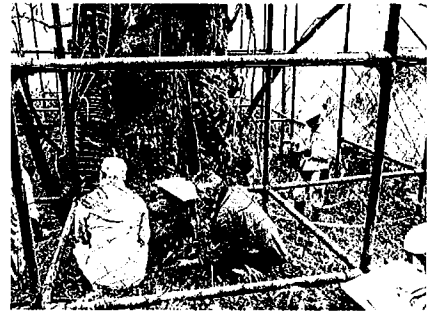
1 大ザクラの見学・現地説明会 (10:00~11:30)

樹木医が大ザクラの解説を行いますので、
直接、現地へお越しください。

2 講演会 (13:30~16:00)

報告「今日までの大ザクラの歩み」

講師／宮田和男氏 (樹木医)



プロフィール 樹木医として、樽見の大ザクラ、建屋のヒダリマキガヤをはじめ、延応寺(朝来市)にある兵庫県で2番目に大きいケヤキの治療や、大乘寺(香美町)にある樹齢800年の大クスの大枝落下防止対策にあたるなど、各地で活躍している

講演「大ザクラと白紋羽病～大ザクラの病状と今後の対策～」

講師／中村 仁氏 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門上級研究員)

プロフィール 樹木の菌類(カビ)による病気に関する試験研究を長年行っており、現在は、果樹の病気を対象として、果樹園に元来生息している土着の微生物とその働きを活用した防除方法の開発を進めている。

講演「大ザクラの樹勢について」

講師／堀 大才氏 (NPO法人樹木生態研究会代表)

プロフィール 法政大学生命科学部兼任講師(植物医科学)、NPO 法人樹木生態研究会代表、(財)日本緑化センター樹木医認定プログラム講師、樹木医学会監事。日光杉並木をはじめ全国各地で樹木の治療に活躍している。

講演「画家の見る巨樹」

講師／伊藤晴子氏 (洋画家)

プロフィール 東京藝術大学美術学部油画科卒業、イタリア国立カララ美術アカデミー卒業、父・伊藤清永に師事、1985・1987年 日展特選、1988年 白日会 S美術賞、2000年 日展会員賞、2010年 白日会内閣総理大臣賞を受賞、日展特別会員、白日会常任委員。

樽見の大ザクラは、推定樹齢は1,000年といわれ、昭和26年に国指定の天然記念物になりました。兵庫県で最大の桜であり、幹廻りは6.3m、樹高は13.8mです。枝は東西14.4m、南北21mに広がり、幹の表面は、樹皮のコブが盛り上がり老木の風格を示しています。樹種はエドヒガンザクラで、「仙桜」とも呼ばれています。

平成5年には桜の花や葉が大変少なくなり、枯死寸前といわれました。そこで、文化庁、兵庫県教育委員会、兵庫県樹木医会、兵庫県みどり公社などの支援を受け、平成9年から5年間をかけて木製ジャングルジム支柱の設置、土壌改良や不定根を育成するなど樹勢回復のための治療を進めました。

また、平成15年・16年にも大規模な樹勢回復作業を行いました。この時、幹や枝を支えるジャングルジム支柱を木製から鋼管に替えました。また、乾燥する夏に水を根に補給するため、新しく貯水タンク小屋を設置し、大ザクラまで導水パイプを整備しました。

現在では、大変立派に大桜がよみがえり、樹木全体を覆うほど多くの花や葉が茂るようになりました。桜の開花時期には約1万人が見学に訪れ、兵庫県を代表する桜の名所になっています。

一方で、大ザクラは外見的には正常でしたが、平成27年に根に樹を枯らすこともある腐朽菌が成長していることが分かり、放置できないため治療を開始しました。今は、土壌環境を整え、微生物によって腐朽菌を抑え込む治療法が成果を上げています。

こうした20年にわたる樹勢回復事業の取組を紹介し、養父市のシンボルである「樽見の大ザクラ」のさらなる保存、回復に向けて普及啓発するために講演会を開催します。

今年も、大桜はその花を咲かせました。

「樽見の大桜」は、実に千回を超える春を迎えているとされています。

山の斜面のこの場所で、四季の移り変わりを、時代の移り変わりを見つめてきたのです。

根を伸ばし、幹を太らせ、枝を広げて、千年以上も美しく花を咲かせ続けてきたのです。

どうかこれからも私たちの歩みを見つめ続けてほしいと思います。

私たち養父市民の一人ひとりも、しっかりと着実に、未来に向かって進んでいきます。

(資料写真)



国指定天然記念物「樽見の大ザクラ」の開花時期の風景



「樽見の大ザクラ」の治療風景

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

資料番号

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
3月26日（月）	危機管理室 防災安全課	079-662-2899	課長 西垣 節夫 主事 近藤 一樹
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

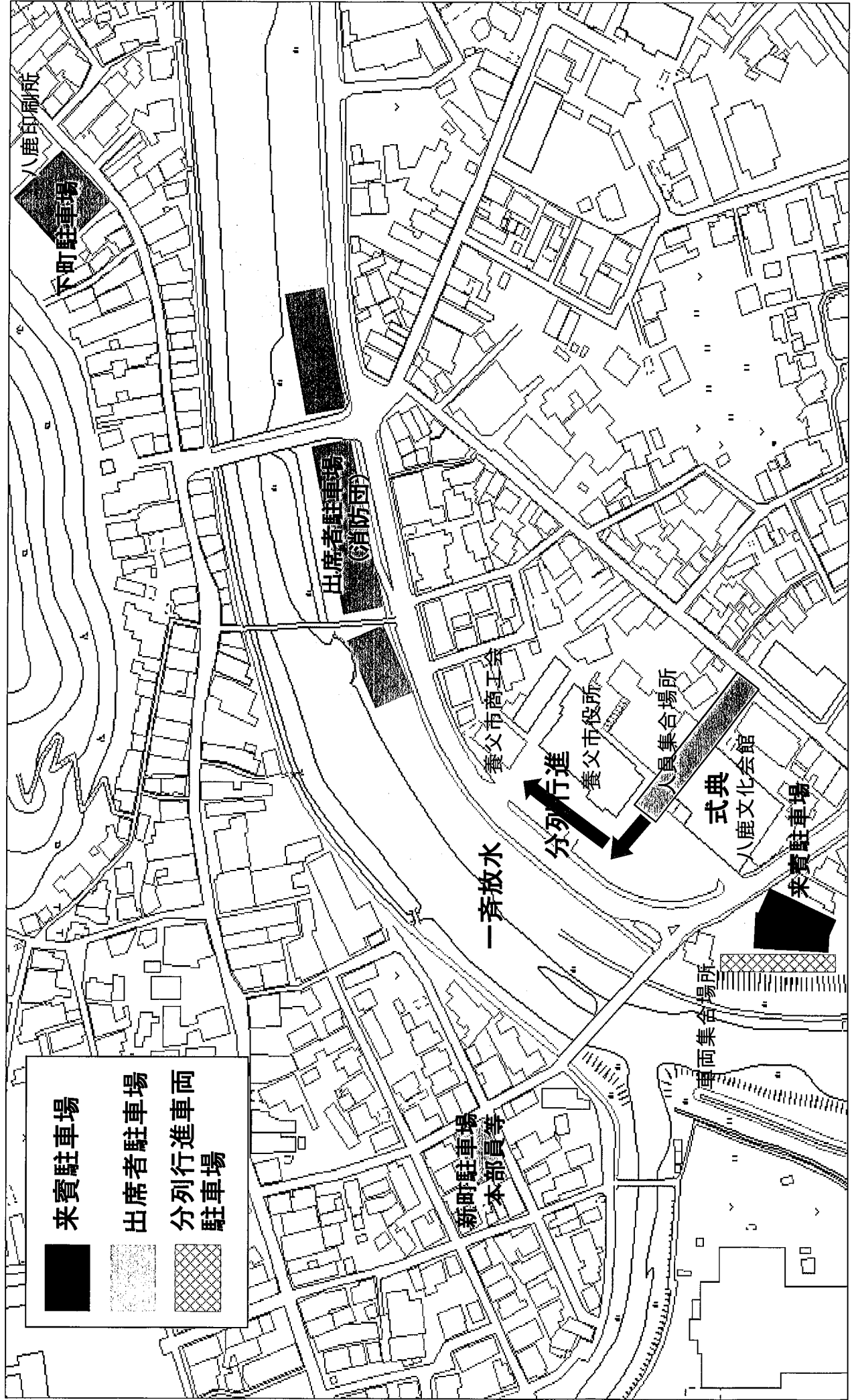
「平成30年養父市消防大会」の挙行について

標記のことについて、下記のとおり挙行しますのでお知らせします。

記

- 日時 平成30年4月1日（日）午前8時30分～午前11時30分
- 場所
 - ・分列行進（養父市役所駐車場） 午前8時30分～午前8時50分
 - ・式典（八鹿文化会館ホール） 午前9時～午前11時
 - ・一斉放水（市役所前八木川河川敷） 午前11時10分～午前11時30分
- 参加 養父市消防団
来賓（衆議院議員、県議会議員、但馬県民局長等）
約600名
- その他 報道機関の方は、来賓駐車場（別紙会場周辺図参照）をご利用ください。

会場周辺図・駐車場



平成30年養父市消防大会次第

1. 分 列 行 進

—養父市役所駐車場—

2. 式 典

—八鹿文化会館ホール—

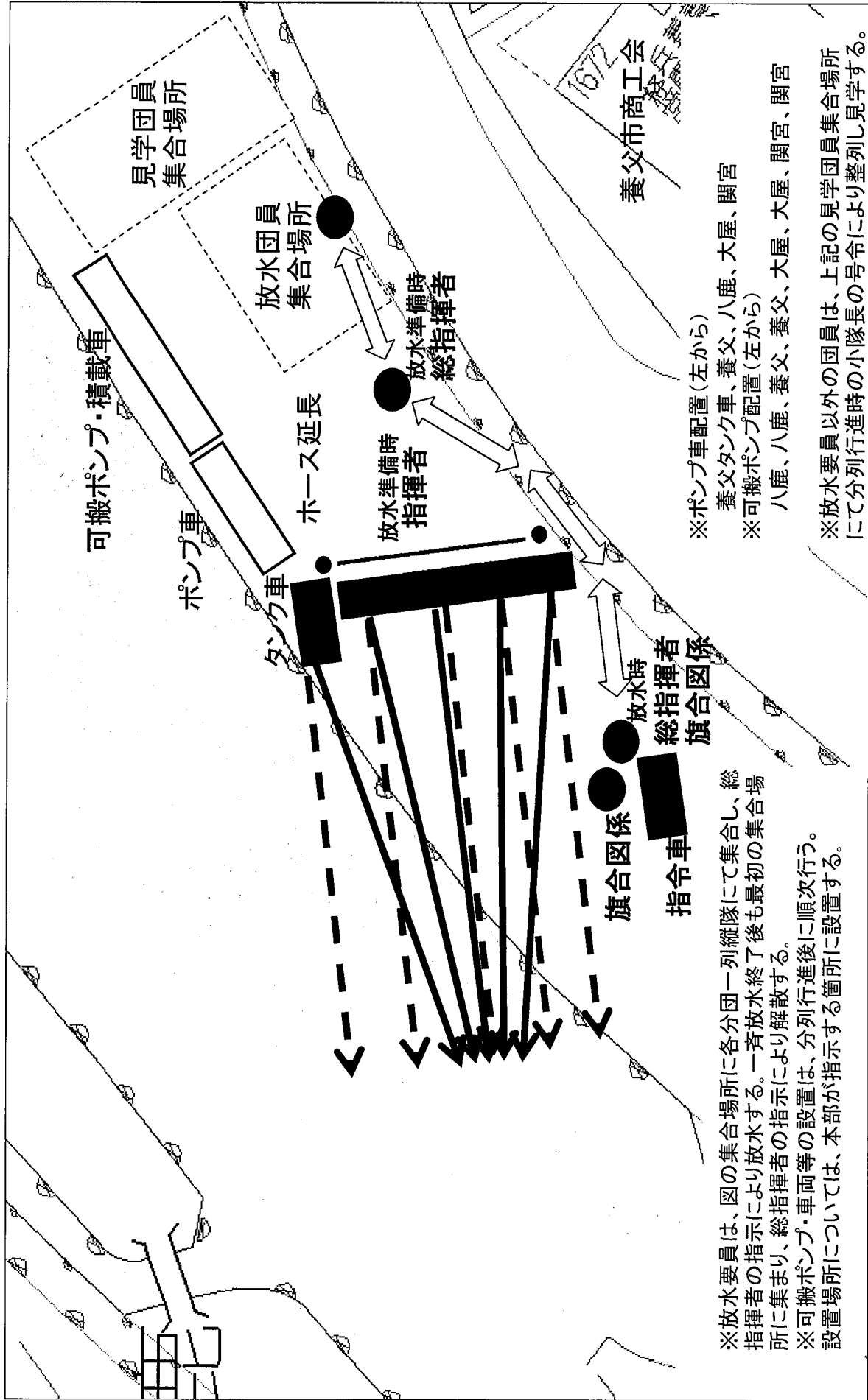
- (1) 人員報告
- (2) 開式のことば
- (3) 団旗入場
- (4) 国旗注目
- (5) 黙禱
- (6) 市長式辞
- (7) 新入団員辞令交付
- (8) 新入団員宣誓
- (9) 団長訓示
- (10) 感謝状及び表彰授与
 - ・退団者感謝状
 - ・市長表彰
 - ・消防長表彰
 - ・団長表彰
- (11) 表彰伝達
 - ・叙勲
 - ・消防庁長官表彰
 - ・兵庫県知事表彰
 - ・日本消防協会会長表彰
 - ・兵庫県消防協会会長表彰
- (12) 来賓祝辞
- (13) 宣言
- (14) 国旗注目
- (15) 団旗退場
- (16) 閉式のことば

アトラクション 童和こども園幼年消防クラブ

3. 一 斉 放 水

—八木川河川敷—

一斉放水配置図



養父市商工会

※ポンプ車配置(左から)
 養父タンク車、養父、八鹿、大屋、関宮
 ※可搬ポンプ配置(左から)
 八鹿、八鹿、養父、養父、大屋、大屋、関宮、関宮

※放水要員以外の団員は、上記の見学団員集合場所にて分列行進時の小隊長の号令により整列し見学する。

※放水要員は、図の集合場所に各分団一列縦隊にて集合し、総指揮者の指示により放水する。一斉放水終了後も最初の集合場所に集まり、総指揮者の指示により解散する。
 ※可搬ポンプ・車両等の設置は、分列行進後に順次行う。設置場所については、本部が指示する箇所に設置する。

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
3月26日（月）	市民生活部 関宮地域局	079-667-2331	局長 田村 英幸 （主幹 岩佐 英行）
【報道解禁】 新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「中瀬桜まつり」の開催について

日本遺産に認定された「銀の馬車道 鉱石の道」の鉱山群の一つである中瀬鉱山が所在する中瀬地区において、「中瀬桜まつり」が、4月8日（日）に開催されます。

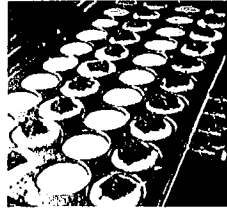
桜の鑑賞や、各種の食事が楽しめます。また、今回、平成29年12月15日に日本精鉱株式会社から養父市へ寄贈された中瀬自然金の展示と、会社所有のとてもダイナミックな中瀬自然金を模したレプリカの初めての展示を行います。

- 1 日 時 平成30年4月8日（日）午前10時～午後4時
- 2 場 所 養父市中瀬体育館前広場及び体育館（養父市中瀬）
- 3 内 容 展示・屋台等
(1) 特別展示（体育館内）
中瀬自然金（養父市所有）、中瀬自然金レプリカ
(2) 屋台での飲食物販売（別紙チラシ）
- 4 主 催 中瀬地区
- 5 協 賛 中瀬金山会・中瀬婦人会
- 6 問合せ 関宮地域局 電話：079-667-2331
担当：岩佐 英行

日時..平成三十年四月八日(日曜日)十時より

場所..養父市中瀬 体育館前広場

中瀬桜まつり



グルメ出店

中瀬金山会

中瀬婦人会

屋台の方々

予定のメニュー

金山焼(桜あん・小豆あん)

ぜんざい・コーヒー

うどん・いなり寿司・おにぎり

但馬牛焼き

海鮮焼き

たこ焼き(翁)

焼きそば(朝来・若大将)

ハルハルカフェ・ほか色々

主催：中瀬地区

協賛：中瀬金山会・中瀬婦人会

